



山県市オーガニックビレッジ宣言



山県市長 林 宏優

山県市は、令和6年3月に策定した「第3次山県市総合計画」において、「子育て応援のまち 山県市」を将来像として掲げています。

この「子育て応援」のひとつが、学校給食です。

栄養バランスのとれた食生活は、健康な心身を育むためには欠かせないものであり、生涯にわたって健やかに生きるための基礎を培います。また、食を通じて地域を理解し、地産地消の取組など地域の風土や伝統に根ざした食文化にふれることはこどもたちの食育に大変重要なことと考えています。こうした健全な心と体を培い、豊かな人間性を育ていく基礎となる環境を守っていくため、県内市では初となる給食費の無償化に取り組んでまいりました。

また、給食の食材は、地産地消の促進として、慣行農業に比べ環境に配慮した農業による地元産のお米や、旬な野菜などを積極的に使用してきました。

有機農業によるお米は、より環境に配慮した食材のひとつです。市内の農業者の協力のもと、市と県、ぎふ農業協同組合などとの技術指導や連携などにより、市立保育園に提供することができるようになりました。

今後は、有機農業による農産物を、市立小学校、市立中学校へと段階的に提供できる体制を構築することで有機農業取組面積を増やし、元気な「山県っ子」を育成すると同時に、生産者の安定した供給先として位置づけ、有機農業を推進してまいります。

環境への負荷をできる限り低減する有機農業は、お米のみに留まらず、その他の野菜などにも広げることで、農業全体を活性化し、持続可能な農業にもつながります。

こうした有機農業の取組が、子育てを応援するまちづくりにつながるため、ここに「オーガニックビレッジ」を宣言します。

令和8年3月25日 山県市長 林 宏優